

## AMDの第3世代Ryzen

JJ1SXA/池

パソコンのCPUはインテルというのは常識と言えるほど、現在のシェアは圧倒的にインテルで、AMDはわずかだ、だが、この図式が変わるかも知れない、AMDの第3世代のCPU「Ryzen」の性能が半端じゃ無いようだ。

CPUメーカーとしては、AMDはインテルと並ぶ老舗だ、設立当初はインテルの互換CPUを製造していたが、1990年代後半から独自CPUを開発、販売しているが、性能でインテルを上回れず、今まではシェアは大きく引き離されていた。

だが、最近ではインテルCPUの供給不足もあり、国内メーカーのパソコンでもAMDのCPUを採用するものが増えている、そして、ついに第3世代ライゼンでインテルCPUの性能を大きく上回ることに成功した。

第3世代ライゼンは、インテルCPUに先駆け、7nm(ナノメートル)製造プロセスを実現、現状最強と言われる分岐予測技術「TAGE(テイジ)」の採用などで性能を大きく向上させているのが特徴のようだ。

インテルCPUを圧倒する驚きの性能とは？

CPU単体性能では、第3世代ライゼンが圧倒的優位

動画処理性能もライゼンが圧倒的に高い

ゲームにおける快適性も確実に向上している

現状では、第3世代ライゼンは、自作市場向けの単品販売が主だ、自作だと、第3世代ライゼンのCPUに加え、メモリー、マザーボード、グラフィックスボード、SSDなどのパーツに加え、OS込みで、おおよそ70k円後半位だ、第3世代ライゼンを搭載した製品はまだ少ないようだ。

マウスコンピューター:LUV MACHINES AG400SN-M2S2

直販価格:9万7800円(税別)

ドスパラ:Lightning AH5 3600

直販価格:7万9900円(税別)

イーヤマ:Level-R0X5-R93X-DXX-Mayu

直販価格:18万9980円(税別)

ASUS(エイスース):ROG Strix GL 10DH-R7R2070

直販価格:22万2000円(税別)